

II 定点把握対象疾患の発生動向

1 定点把握対象疾患の概要

1) 内科定点及び小児科定点（インフルエンザ定点）の感染症

2021-2022年シーズンにインフルエンザの流行は観察されなかった。2022-2023年シーズンは、2022年第51週に2019年-2020年シーズン以来の流行入りとなった。

2) 小児科定点の感染症

RSウイルス感染症の流行のピークは、2017年以降では2020年を除き、7月から9月にかけて観察されている。2022年は顕著な流行のピークは観察されず、6月から11月まで定点当たり報告数が多い状況が続いた。咽頭結膜熱は、例年に比べ小規模な流行が夏季に観察された。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、2020年3月以降、例年を下回る水準で推移している。感染性胃腸炎の11月から12月の冬季流行は、2022年は小規模で、2021年と同等であった。水痘は、2020年4月以降、例年を下回る水準で推移している。手足口病は、2011年以降、2013年、2015年、2017年、2019年と隔年で大きな流行が観察されていたが、2021年に流行は観察されなかった。2022年は2019年以来の小規模な流行が観察された。伝染性紅斑は、2018年-2019年と続いた流行が2020年に終息し、以後非流行期が続いている。突発性発しんは、1月から3月は例年同様の動向が観察されたが、4月から12月までは例年よりやや少ない水準で推移した。ヘルパンギーナの夏季流行は2019年以來3年ぶりに観察され、流行の規模は中程度であった。流行性耳下腺炎は、年間を通して際立った報告数の増加は観察されず、2018年以降非流行期が続いている。

3) 眼科定点の感染症

急性出血性結膜炎は、年間を通して断続的に報告されたが、低い水準が続いている。流行性角結膜炎は、年間を通して大きな変動は観察されなかった。

4) 基幹定点の感染症

ア 週単位報告の感染症(2022年第1週～第52週)

細菌性髄膜炎の過去10年の定点当たり報告患者総数は0.22～1.40の範囲であった。2022年の定点当たり報告患者総数は0.73で、報告は例年同様に散発的であった。無菌性髄膜炎の過去10年の定点当たり報告患者総数は2.00～5.70の範囲であった。2022年の定点当たり報告患者総数は2.00で、報告は例年同様に断続的であった。マイコプラズマ肺炎の過去10年の定点当たり報告患者総数は0.91～128.11の範囲であった。2022年の定点当たり報告患者総数は0.73で、過去10年の最小値を下回った。クラミジア肺炎の過去10年の定点当たり報告患者総数は0.00～6.00の範囲であった。2020年以降は患者の報告はない。感染性胃腸炎(ロタウイルス)は2013年第42週から報告対象疾患となり、2014年以降の定点当たり報告患者総数は0.09～11.40の範囲であった。2022年の定点当たり報告患者総数は0.18で、流行は観察されなかった。インフルエンザ(入院患者)の過去10年の定点当たり報告患者総数は0.09～52.64の範囲であった。2022年の定点当た

り報告患者総数は 0.36 で、過去 10 年で最も少なかった 2021 年に次いで少なかった。

イ 月単位報告の感染症(2022 年 1 月～12 月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の定点当たり報告患者総数は、2013 年から 2020 年は 20.00 を下回っていた。2022 年の定点当たり報告患者総数は 25.36 で、前年に引き続き、定点当たり報告患者総数 20.00 を上回った。全国と比較すると少なかった。ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の定点当たり報告患者総数は、2005 年から 2011 年は 10.00 を超えていた。その後は低い水準で推移している。2022 年の定点当たり報告患者総数は 1.45 で、全国と同等であった。薬剤耐性緑膿菌感染症の定点当たり報告患者総数は、2007 年までは 1.00 以上であったが、2008 年から 2021 年までは 0.09～0.89 で推移している。2022 年の定点当たり報告患者総数は 0.45 で、全国より多かった。

5) 性感染症定点の感染症

性器クラミジア感染症の定点当たり報告患者総数は、2007 年までは 30.00 を上回っていたが、2008 年から 2021 年までは 24.12～28.72 で推移している。2022 年の定点当たり報告患者総数は 27.57 で、全国より少なかった。性器ヘルペスウイルス感染症の定点当たり報告患者総数は、2001 年以降、5.82～9.50 で推移している。2022 年の定点当たり報告患者総数は 8.46 で、全国と同水準であった。尖圭コンジローマの定点当たり報告患者総数は、2001 年以降、3.84～6.28 で推移している。2022 年の定点当たり報告患者総数は 4.02 で、全国より少なかった。淋菌感染症の定点当たり報告患者総数は、2001 年以降、6.47～17.44 で推移している。2022 年の定点当たり報告患者総数は 6.26 で過去最少となった。また、全国より少なかった。